

# 2020/10～2020/12 にっしん景況レポート

2021/1

Vol.  
19



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2020年10～12月の景気の現状と2021年1～3月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。  
対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2020年10～12月の実績(12月については予想)  
2021年1～3月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の362社
4. 分析方法 : D.I. という指標を用いた分析。  
D.I. とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I. となります。  
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2020年10～12月  
前期 = 2020年7～9月  
前年同期 = 2019年10～12月  
来期 = 2021年1～3月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	49	22	18	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	362	90	57	41	73	54	47

### ● 今期の景況

今期（2020年10月～12月）の全業種における業況判断D.I.は▲33.4となり、前期実績と比して8.5ポイント改善した。売上額判断D.I.は▲15.2、収益判断D.I.は▲17.7となり、前期実績と比してそれぞれ13.1ポイント、7.2ポイント改善した。新型コロナウイルスの影響による春先の落ち込みから、各種施策もあり業況の持ち直しの動きが引き続き見られた。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲24.3となり、前期実績より6.8ポイント低下し、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期（2021年1月～3月）の予想業況判断D.I.は▲39.0と今期実績から低下する見通しとなっている。今後は新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、経済活動の抑制による景気の下振れ懸念が見込まれる。

#### 〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	15	35	141	133	38	362
回答割合	4.1%	9.7%	39.0%	36.7%	10.5%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 13.812\% - 47.238\% \div -33.4$$

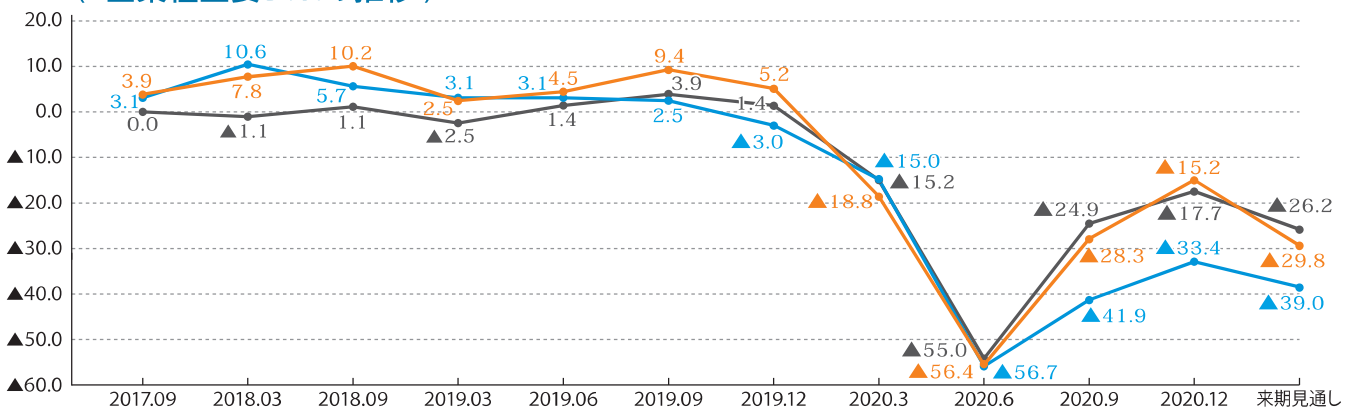
#### 〈2020年10～12月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲32.7	▲28.6	▲68.2	▲44.4	▲28.0	▲26.3	▲5.0
三木地区	▲29.1	▲35.3	▲27.3	▲50.0	▲37.5	0.0	▲25.0
神戸地区	▲35.7	▲29.2	▲37.5	▲41.2	▲62.5	▲11.5	▲17.4
全地区	▲33.4	▲30.0	▲47.4	▲43.9	▲47.9	▲14.8	▲12.8

#### 〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲41.9	▲33.4	▲39.0	販売価格(前期比)	▲2.5	▲2.2	▲5.8
売上額(前期比)	▲28.3	▲15.2	▲29.8	仕入価格(前期比)	11.4	13.8	8.0
売上額(前年同期比)	▲54.0	▲40.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲4.7	▲3.6	▲10.2
収益(前期比)	▲24.9	▲17.7	▲26.2	人手不足(過剰-不足)	▲17.5	▲24.3	▲21.5
収益(前年同期比)	▲52.1	▲40.3	—				

#### 〈「全業種主要D.I.の推移」〉



## ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲30.0となり、前期実績と比して17.8ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲3.3、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ33.4ポイント、25.6ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲34.4、収益判断D.I.の前年同期比は▲31.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲16.7となり、前期実績から12.3ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲36.7と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲25.6、予想収益判断D.I.は▲17.8となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなっている。

## 〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲47.8	▲30.0	▲36.7	販売価格(前期比)	▲6.7	▲2.2	▲5.6
売上額(前期比)	▲36.7	▲3.3	▲25.6	仕入価格(前期比)	4.4	16.7	8.9
売上額(前年同期比)	▲46.7	▲34.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲2.2	3.3	▲4.4
収益(前期比)	▲25.6	0.0	▲17.8	人手不足(過剰-不足)	▲4.4	▲16.7	▲12.2
収益(前年同期比)	▲41.1	▲31.1	—				

## ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲47.4となり、前期実績と比して8.7ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲26.3、収益判断D.I.は▲35.1となり、前期実績と比して売上額は変わらず、収益は7.0ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲45.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲45.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲14.0となり、前期実績から12.2ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲61.4と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲50.9、予想収益判断D.I.は▲45.6となり、今期実績から売上額および収益は減少する見通しとなっている。

## 〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲56.1	▲47.4	▲61.4	販売価格(前期比)	1.8	▲10.5	▲8.8
売上額(前期比)	▲26.3	▲26.3	▲50.9	仕入価格(前期比)	14.0	1.8	0.0
売上額(前年同期比)	▲61.4	▲45.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲14.0	▲14.0	▲24.6
収益(前期比)	▲28.1	▲35.1	▲45.6	人手不足(過剰-不足)	▲1.8	▲14.0	▲8.8
収益(前年同期比)	▲61.4	▲45.6	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲43.9となり、前期実績と比して2.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲14.6、収益判断D.I.は▲22.0となり、前期実績と比してそれぞれ17.1ポイント、4.8ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲51.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲53.7となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲24.4となり、前期実績から14.6ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲51.2と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲39.0、予想収益判断D.I.は▲36.6となり、今期実績から売上額および収益は減少する見通しとなっている。

#### 〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲41.5	▲43.9	▲51.2	販売価格(前期比)	▲7.5	9.8	▲7.3
売上額(前期比)	▲31.7	▲14.6	▲39.0	仕入価格(前期比)	14.6	17.1	2.4
売上額(前年同期比)	▲58.5	▲51.2	—	資金繰り(楽-苦)	▲7.3	▲19.5	▲24.4
収益(前期比)	▲26.8	▲22.0	▲36.6	人手不足(過剰-不足)	▲9.8	▲24.4	▲17.1
収益(前年同期比)	▲58.5	▲53.7	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲47.9となり、前期実績と比して3.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲26.0、収益判断D.I.は▲34.2となり、前期実績と比して売上額は変わらず収益は5.4ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲45.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲50.7となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲38.4となり、前期実績から3.7ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲47.9と今期実績と変わらない見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲31.5、予想収益判断D.I.は▲31.5となり、今期実績から売上額および収益は減少する見通しとなっている。

#### 〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲51.4	▲47.9	▲47.9	販売価格(前期比)	1.4	▲1.4	▲5.5
売上額(前期比)	▲26.0	▲26.0	▲31.5	仕入価格(前期比)	9.6	8.2	5.5
売上額(前年同期比)	▲69.9	▲45.2	—	資金繰り(楽-苦)	▲9.6	▲11.0	▲15.1
収益(前期比)	▲28.8	▲34.2	▲31.5	人手不足(過剰-不足)	▲34.7	▲38.4	▲37.0
収益(前年同期比)	▲68.5	▲50.7	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲14.8となり、前期実績と比して13.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲22.2、収益判断D.I.は▲18.5となり、前期実績と比してそれぞれ11.8ポイント、13.6ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲42.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲40.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲38.9となり、前期実績から0.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲24.1と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲24.1、予想収益判断D.I.は▲20.4となり、今期実績から売上額および収益は減少する見通しとなっている。

#### 〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲28.3	▲14.8	▲24.1	販売価格(前期比)	▲5.7	▲7.4	▲5.6
売上額(前期比)	▲34.0	▲22.2	▲24.1	仕入価格(前期比)	20.8	27.8	24.1
売上額(前年同期比)	▲49.1	▲42.6	—	資金繰り(楽-苦)	1.9	3.7	▲5.6
収益(前期比)	▲32.1	▲18.5	▲20.4	人手不足(過剰-不足)	▲39.6	▲38.9	▲40.7
収益(前年同期比)	▲47.2	▲40.7	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.8となり、前期実績と比して2.1ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は0.0、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ8.5ポイント、4.3ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲27.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲23.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲12.8となり、前期実績から4.2ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲8.5と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲8.5、予想収益判断D.I.は▲8.5となり、今期実績から売上額および収益は減少する見通しとなっている。

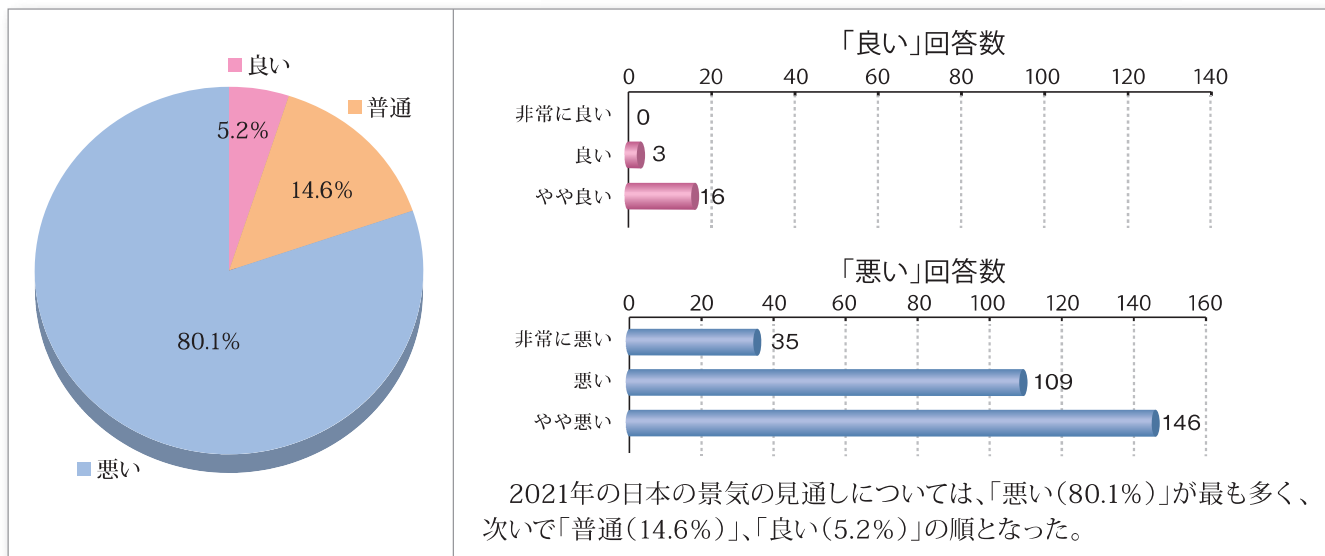
#### 〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲14.9	▲12.8	▲8.5	販売価格(前期比)	2.1	2.1	▲2.1
売上額(前期比)	▲8.5	0.0	▲8.5	仕入価格(前期比)	10.6	12.8	6.4
売上額(前年同期比)	▲36.2	▲27.7	—	資金繰り(楽-苦)	4.3	12.8	10.6
収益(前期比)	▲4.3	0.0	▲8.5	人手不足(過剰-不足)	▲17.0	▲12.8	▲12.8
収益(前年同期比)	▲36.2	▲23.4	—				

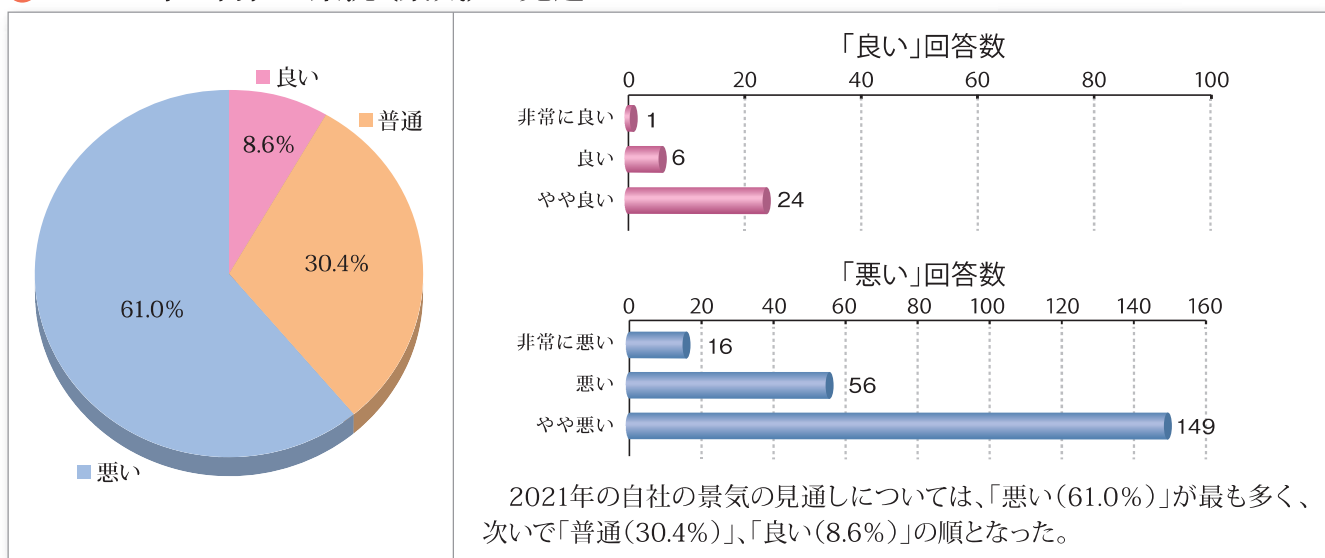


## 特別調査：2021年（令和3年）の経営の見通し

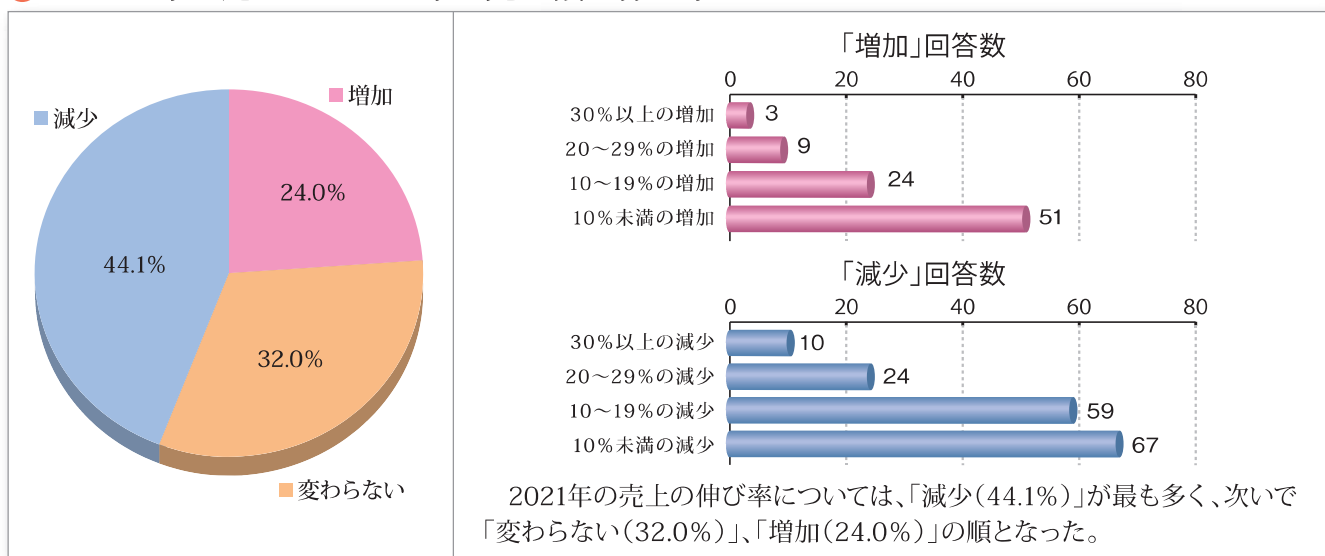
### ◎ ～2021年の日本の景気の見通しについて～



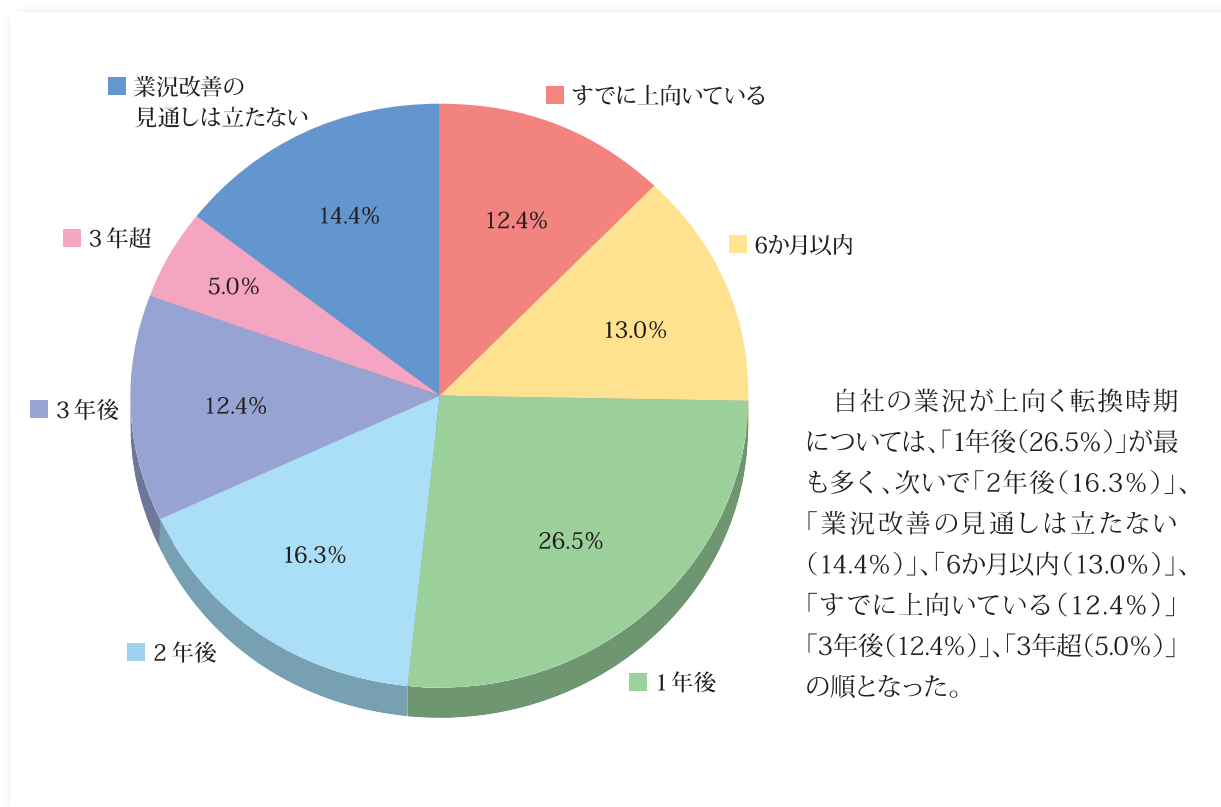
### ◎ ～2021年の自社の業況（景気）の見通しについて～



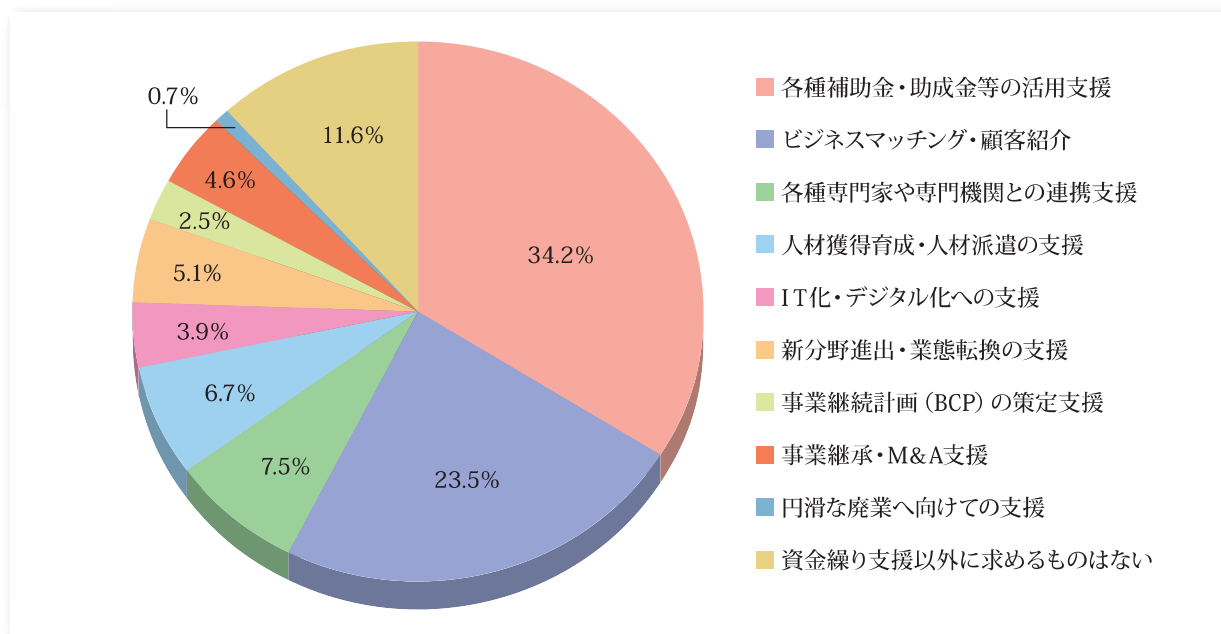
### ◎ ～2020年に比べての2021年の売上額の伸び率について～



◎ ～自社の業況が上向き転換時期について～



◎ ～現在のコロナ禍において、資金繰り以外に地域金融機関に求めることについて～



現在のコロナ禍において、資金繰り以外に地域金融機関に求めることについては、「各種補助金・助成金等の活用支援(34.2%)」が最も多く、次いで「ビジネスマッチング・顧客紹介(23.5%)」、「資金繰り以外に求めるものはない(11.6%)」、「各種専門家や専門機関との連携支援(7.5%)」、「人材獲得育成・人材派遣の支援(6.7%)」、「新分野進出・業態転換の支援(5.1%)」、「事業継承・M&A支援(4.6%)」、「IT化・デジタル化への支援(3.9%)」、「事業継続計画(BCP)の策定支援(2.5%)」、「円滑な廃業へ向けての支援(0.7%)」の順となった。

## 〈にっしん〉からのお知らせ

### イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染状況により中止又は延期させていただきます場合があります。

また、募集状況により受付を終了している場合があります。

#### ●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和3年2月13日(土)13:00～17:00  
②令和3年3月13日(土)13:30～17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室 ●参加費：無 料
- 定員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

#### ●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和3年2月17日(水)13:00～17:15 日新信用金庫 三木支店  
②令和3年3月17日(水)13:00～17:15 日新信用金庫 神栄支店
- 参加費：無 料 ●定員：各日程 3組(ご相談時間1組75分)

### 商品関連

- キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金 Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)

### 〈その他〉

#### ●「にっしん名店・銘品セレクション」の発刊について

〈にっしん〉の担当者が自信を持って推薦する魅力的な名店・銘品を紹介する冊子を発刊致しました。明石・神戸・三木を中心とした、地域の特色ある事業者様を掲載しております。本冊子は営業店窓口等に配架しておりますので、ご自由にお持ち帰りください。

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第19回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 0120-15-2489

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで